



“Early Clinical Experience with Saroa in Shinshu” — 長野から広がるSaroa活用の可能性と、多診療科での取り組み —

開催日時 : 2026年5月7日(木) 18:30~

開催場所 : 信州大学医学部附属病院 臨床医学棟2階 第1臨床講堂(現地)

参加方法 : 現地/Web(QRコードより事前参加登録) ※Hybrid形式



Web参加事前登録

座長 **清水 公裕 先生**
信州大学医学部 呼吸器外科学分野 教授

三輪 史郎 先生
岡谷市民病院 副院長・研修センター長・消化器外科部長

演者 **北沢 将人 先生**
信州大学医学部 消化器・移植・小児外科学分野 講師

飯沼 伸佳 先生
岡谷市民病院 外科 部長

清水 公裕 先生
信州大学医学部 呼吸器外科学分野 教授



「長野県という一地方において、ほぼ同時期に2台の新型手術支援ロボットSaroaが導入されたことは非常に稀な経験です。

それぞれ異なる背景（病院独自の取り組みと、若手育成を目的とした文科省補正予算）からスタートしましたが、現在では呼吸器外科と消化器外科の双方で活用が進み、臨床面だけでなく教育面においても有用性が見えてきております。

本講演では、こうした信州での実際の取り組みをもとに、Saroaの新たな可能性を長野県および全国の先生方と共有できればと考えております。」



信州大学 清水公裕 教授

力覚フィードバック機能

鉗子先端にかかる力をセンサーで計測し、その数値を基に操作ハンドルで力を再現します。これにより、術者はリアルタイムに力加減を感じながら手術を行うことができます。



軽量・小型化

高さ約150cm・重量約500kgと軽量・小型化手術室の改修工事、専用化が不要です。また、独自のアーム設計により、術中のアーム干渉を軽減します。